第六講「らむ・けむ」／「らむ」の識別／「べし・まじ」

らむ・けむ（＝「ら　　・け　　」）

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
	らむ	○	○	らむ	らむ	らめ	○	四段型
形	けむ	○	○	けむ	けむ	けめ	○	四段型

【意味】

〈違い〉＝「時制」

「らむ」＝「　　　」

「けむ」＝「　　　」

〈共通〉

① 推量（～だろう）

② 原因推量（どうして～だろう）

③ 伝聞（～とかいう）

④ 婉曲（～ような）

※共通の意味の上にそれぞれ時制を全て付け足す。訳もそれぞれ時制を加えて訳すこと。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈見分け方〉＝「　　　」か「　　　」に分ける。

○「　　　」＝時制＋「推量」・「原因推量」

○「　　　」＝時制＋「伝聞」・「婉曲」

★「　　　」の意味の見分け方

○見ている→「　　　」

○見ていない→「　　　」

※ 文中に、**「どうして〜」と訳せる疑問語、係助詞「や」・「か」**がある場合→「　　　」が多い。

〈例題一〉 次の傍線部の文法的意味を答えよ。

① 涙さへなどとまらざるらむ

② 駒並べていざ見に行かむ古里は雪とのみこそ花は散るらめ

③ 人違へにてぞあるらむ。

④ 見渡せば山もとかすむ水無瀬川夕べは秋と何思ひけむ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「さて都にも心安くておはすらんと思はば、…」の傍線部の意味として、最も適当と思われるものを、次の中から選べ。

1　可能　2　自発　3　完了　4　受身　5　打消推量
6　意志　7　強意　8　過去　9　推量　10　現在推量

問二　「あらざりけん」の傍線部の助動詞の意味として正しいものを、次の中から選べ。

ア　現在の推量　イ　過去の推量　ウ　適当　エ　可能
オ　断定　カ　伝聞推定　キ　完了　ケ　当然

問三　次の空欄A、Bには助動詞「らむ」または「けむ」が入る。それぞれに合う助動詞を適切な形にして、記せ。

「かかる所にながめたまふ［A］心の中のあはれに、…」
一つ橋危がりて帰り来たり［B］者のやうに、わびしくおぼゆ

A＝　　　　B＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「らむ」の識別

【識別対象】

1 「　　　　　　」の助動詞「らむ」
2 「　　　」の助動詞「り」の「　　　」形＋推量の助動詞「む」
3 「〜ら」となる活用語の未然形＋推量の助動詞「む」

〈見分け方〉＝「　　　　」の「　　　」

1 上が「　　」段＝現在推量「らむ」
2 上が「　　」段＝完了「り」＋推量「む」
3 上が「　　」段＝活用語の未然形＋推量「む」

※「はべらむ」や「けづらむ」などの例外にも注意！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔例題二〕　次の傍線部の「らむ」の文法的説明として、最も適当なものを後の選択肢の中からそれぞれ選べ。

①　違ひはなからむと思ふなめれど、…

②　今はおはしぬらむとて、…

③　何をかたてまつらむ。

④　「〜思ひはべらむこと」とわびたまへば…

⑤　なほその境に至らで詠めらむは無念なりとて、…

ア　助動詞「らむ」

イ　助動詞「り」＋助動詞「む」

ウ　活用語の未然形の活用語尾＋助動詞「む」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　ア「侍るらむ」とイ「敷けらむ」の文法的説明として最も適当なものを、次の中からそれぞれ一つずつ選べ。

1　四段動詞＋助動詞
2　四段動詞＋助動詞＋助動詞
3　ラ変動詞＋助動詞
4　ラ変動詞＋助動詞＋助動詞
5　下二段動詞＋助動詞
6　下二段動詞＋助動詞＋助動詞

ア＝
イ＝

問五　「知らざらむ」の文法的説明として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

1　動詞の未然形＋打ち消しの助動詞「ず」の未然形＋推量の助動詞「む」の連体形
2　動詞の連用形＋打ち消しの助動詞「ず」の連用形＋推量の助動詞「む」の終止形
3　動詞の未然形＋打ち消しの助動詞「ず」の連用形＋推量の助動詞「らむ」の連体形
4　動詞の連用形＋打ち消しの助動詞「ず」の未然形＋推量の助動詞「らむ」の終止形
5　動詞の連用形＋打ち消しの助動詞「ず」の未然形＋詠嘆の助動詞「む」の終止形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　「せんずらん」の文法的説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

イ　動詞「す」の未然形＋助動詞「むず」の終止形＋助動詞「り」の未然形＋助動詞「む」の終止形
ロ　動詞「す」の未然形＋助動詞「むず」の終止形＋助動詞「らむ」の終止形
ハ　動詞「す」の未然形＋助動詞「む」の終止形＋助動詞「ず」の終止形＋助動詞「らむ」の終止形
ニ　動詞「す」の未然形＋助動詞「む」の終止形＋助動詞「ず」の終止形＋助動詞「り」の未然形＋助動詞「む」の終止形
ホ　動詞「せんず」の終止形＋助動詞「らむ」の終止形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

べし・まじ

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
	べし	**べく**	べく	べし	べき	べけれ	○	形容詞型
		べから	べかり	○	べかる	○	○	
	まじ	**まじく**	まじく	まじ	まじき	まじけれ	○	形容詞型
		まじから	まじかり	○	まじかる	○	○	

【「べし」の意味】＝「スイカとめて」

①　推量（～だろう）
②　意志（～よう）
③　可能（～できる）
④　当然（当然～はずだ）
⑤　命令（～せよ）
⑥　適当（～するのがよい）

【「まじ」の意味】＝「　　　　」の打消

①　打消推量（～ないだろう）
②　打消意志（～ないつもりだ）
③　不可能（～できない）
④　打消当然（～はずがない）
⑤　禁止（～するな）
⑥　不適当（～ないほうがよい）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈「べし」の意味の見分け方〉＝文脈判断。目安として**主語**確認。

○　**一**人称→「　　　　　」

○　**二**人称→「　　　・　　　」

○　**三**人称→「　　　　　」

※　**打消・反語**の文脈→「　　　　　」

※　**比較・選択**の文脈→「　　　　　」

（例）家の作りやうは、夏を旨とす**べし**。

※　「**べき由**（よし）」の「べき」→「　　　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈例題三〉　次の傍線部の文法的意味を答えよ。

① この人々の深き心ざしは、この海にも劣らざるべし。

② 東の方に住むべき国求めにとて行きけり。

③ わが身は女なりとも、敵の手にはかかるまじ。

④ 藤波の咲き行く見ればほととぎす鳴くべき時に近づきにけり

⑤ 「人に聞かすな。人に漏らすまじ」と口固めけり。

⑥ 二条殿へきと参るべきよし、仰せごととて、…

問七　「この人にまさるべからず。」の傍線部の助動詞の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

1　受身　2　可能　3　尊敬　4　打消

5　存続　6　意志　7　婉曲　8　命令

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第六講　「らむ・けむ」／「らむ」の識別／「べし・まじ」

① 「語り申させたまひけめど、…」の傍線部の助動詞の意味として正しいものを、次の中から選べ。

ア　婉曲　　イ　伝聞　　ウ　過去の推量　　エ　過去の詠嘆　　オ　勧誘

② 「戒(いまし)められむずらむ」を単語に分けた場合、どのような分け方になるか。最適なものを次の中から選べ。

ア　戒め／られ／むず／ら／む

イ　戒めら／れ／む／ず／らむ

ウ　戒め／られ／むず／らむ

エ　戒め／られ／む／ず／らむ

③ 「行幸などもやあらむずらむ」の解釈として最も適当なものを、次のア～エから一つ選べ。

ア　行幸などでもあるのかなあ

イ　行幸などがあればいいなあ

ウ　行幸などあるはずがないなあ

エ　行幸などもあったよなあ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④「いかが他の力を借る［I］。」の空欄Ⅰには「べし」を活用させたものが入る。
（1）空欄に入れるのに最も適当な語形と、（2）その活用形の種類を、次のそれぞれの選択肢の中から選べ。
（1）ア　べし　イ　べけれ　ウ　べき　エ　べく　オ　べかる　カ　べから　キ　べかれ
（2）ア　未然形　イ　連用形　ウ　終止形　エ　連体形　オ　已然形　カ　命令形

（1）＝　（2）＝

⑤「便なくや候ふべからん」の文法的説明として最も適切なものを次の中からそれぞれ選べ。
ア　形容詞「便なし」の連用形＋間投助詞「や」＋補助動詞「候ふ」の連体形＋助動詞「べし」の未然形＋助動詞「む」の終止形
イ　形容詞「便なし」の連用形＋係助詞「や」＋補助動詞「候ふ」の終止形＋助動詞「べし」の未然形＋助動詞「む」の終止形
ウ　形容詞「便なし」の連用形＋係助詞「や」＋補助動詞「候ふ」の終止形＋助動詞「べし」の未然形＋助動詞「む」の連体形
エ　形容詞「便なし」の未然形＋係助詞「や」＋補助動詞「候ふ」の連体形＋助動詞「べし」の連用形＋助動詞「む」の連体形
オ　形容詞「便なし」の未然形＋係助詞「や」＋補助動詞「候ふ」の終止形＋助動詞「べし」の連用形＋助動詞「む」の終止形

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　模範解答

〔例題一〕　①　現在原因推量　②　現在推量　③　現在推量　④　過去原因推量

〔例題二〕　①　ウ　②　ア　③　ウ　④　ウ　⑤　イ

〔例題三〕　①　推量　②　適当　③　打消意志　④　当然　⑤　禁止　⑥　命令

問一　10

問二　イ

問三　A　らむ　B　けむ

問四　ア　3　イ　2

問五　1

問六　ロ

問七　2

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答　第六講　「らむ・けむ」／「らむ」の識別／「べし・まじ」

〈**解説**〉

① 傍線部「けめ」＝助動詞「けむ」。文中にあるので厳密に言えば「**過去**の伝聞婉曲」。が、選択肢を見ると「伝聞」、「婉曲」はあるが、いづれも時制が「過去」となっておらず絶対に不可。逆に「過去」に触れているのが、選択肢ウかエ。「けむ」には「詠嘆」の意味はない。よって、消去法でウにするしかない。選択肢の場合は、このように臨機応変に対応すること。

② 「**むずらむ**」の品詞分解は頻出。「らむ」がｕ段についているので**「らむ」で一語の現在推量の助動詞**。「むず」が「むず」で一語か、「む」と「ず」に分かれるかは、講義中にも説明したように、「ず」ならば上が未然形になるが「む」に未然形は存在しないため**「むず」で一語**。よって、正解はウ。

③ ②と同様「むずらむ」が絡む問題。「むず」＝推量、「らむ」＝現在推量がくっついた形の場合は、推量と同じように「〜**だろう**」と訳せばよい。本設問は意訳になっているが、「あるだろう」という意味にとれるものはアのみ。イは願望、ウは打消当然、エは過去＋詠嘆の訳である。よって、正解はア。ちなみに「**行幸**」は「**みゆき**」と読み、「**天皇のお出かけ**」の意味。

④ **空欄補充**の問題は**係助詞絡みが多い**。活用形で文末なので、係助詞がないか上を確認すると、係助詞ではないが「**いかが**」という**疑問語**がある。よって、**文末**を**連体形**に活用させることがわかる。下が助動詞ではないので、補助活用ではない「べき」になる。よって（１）はウ、（２）はエ。

⑤ 選択肢を横に見比べて違いを探し、わかりやすいところから解く。この場合は「べし」と「む」の接続と、係り結びの「結びの形」を使うと解きやすい。「候ふ」の活用形が、連体形と終止形に分かれているが、助動詞「**べし**」が**接続**しているので、**終止形**。よって、アとエは削る。次に、「べし」の活用形が、未然形と連用形に分かれている。「**ん**」（＝選択肢から助動詞「**む**」）

© RECRUIT HOLDINGS

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

が**接続**しているので、**未然形**。よって、さらにオも削る。「**む**」の活用形が、終止形と連体形に分かれているが、**係助詞**「**や**」があるので文末は**連体形**。よって、正解はウ。

〔解答〕

①　ウ　②　ウ　③　ア　④　(1)　ウ　(2)　エ　⑤　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。